

平成 20 年 土木学会 「全国大会の改善に関するアンケート」結果報告

§ 1. 平成 20 年度アンケート実施について

i) アンケート実施方法

配布方法：当日配布

回収方法：回収箱による回収

F A Xによる回収

ii) アンケート内容

平成 20 年度に実施したアンケートの内容を以下に示す。

1. 属性

1-1 年 齢

1-2 会員種別

1-3 講演、聴講区分

1-4 職業（学校関連、公務員、独立行政法人、公益法人、民間企業、学生、その他）

1-5 居住都道府県

2. 参加目的について

2-1 全国大会に参加した主たる目的

2-2 参加した行事とその感想

（全体討論会、特別講演会、学術講演会、研究討論会、国際関連行事、その他）

2-3 学術講演会の参加した部門数

2-4 不満足に感じる点、改善が必要な点（自由記述）

2-5 学術講演会共通セッションへの意見（自由記述）

3. 電子申込みについて

3-1 申込み WEB システムの使いやすさ

3-2 講演申込み、聴講申込みの時期、システムの違いについて

3-3 参加登録の支払方法について

3-4 使いづらさを感じる点、改善が必要な点（自由記述）

4. CD-ROM 版概要集について

4-1 改善提案（自由記述）

4-2 冊子版概要集の購入意志

5. その他

・大会運営、行事内容に対する改善点、要望等（自由記述）

iii) 平成 19 年アンケート結果

本年度のアンケート用紙の裏面に、昨年度のアンケート結果の概要を示した。

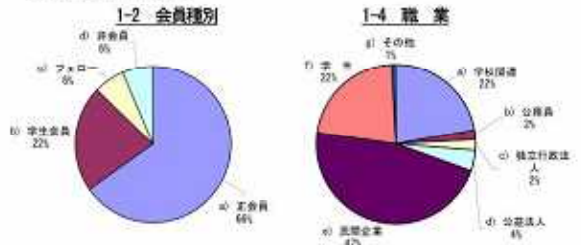
平成 19 年度 全国大会の改善に関するアンケート結果の概要報告

昨年度の全国大会におきまして皆様から頂いたアンケート結果の概要を報告させていただきます。

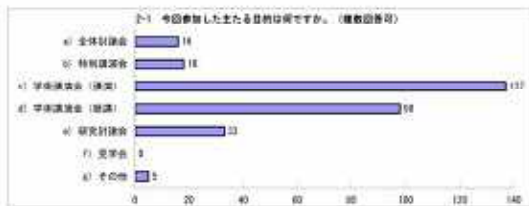
アンケート結果の詳細な内容や御意見に対する対応等につきましては後日学会誌や土木学会ホームページにて報告させていただきます。

・アンケート総数: 220 名

1. 回答者について



2. 参加目的について



2-2 参加した行事とその感想について

	満足		どちらともいえない		不満足	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
a) 全体制講演	13	(29%)	22	(50%)	1	(2%)
b) 特別講演会	22	(46%)	24	(52%)	0	(0%)
c) 学術講演会(部門)	122	(64%)	40	(23%)	21	(11%)
d) 学術講演会(共通)	22	(42%)	15	(28%)	5	(10%)
e) 研究討議会	25	(40%)	28	(45%)	3	(5%)
f) 見学会	4	(20%)	16	(80%)	0	(0%)
g) 防災危機管理パネル	9	(31%)	18	(62%)	2	(7%)
h) 国際関係行事	1	(3%)	17	(83%)	2	(10%)
i) その他	1	(17%)	4	(67%)	1	(17%)

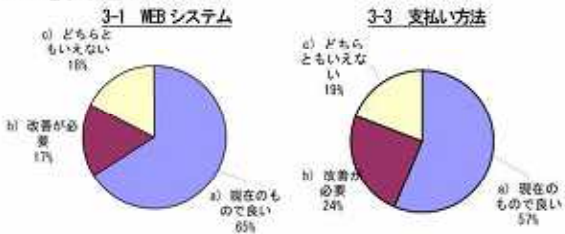
2-4 不満足に感じる点、改善が必要である点について

- c) 学術講演会 (部門)
 - ・ 発表・討論も含めてレベルが低いなどの意見 (6件)
 - ・ 分野ごとで固まりすぎ、共通を中心にするべきなどの分野に関する意見 (3件)
 - ・ マイクが弱いため聞き取りにくいなど、音響設備に関する意見 (10件)
 - ・ 部屋が狭い、など会場に関する意見 (7件)
 - ・ 発表時間短縮など、時間配分に関する意見 (2件)
- e) 研究討議会
 - ・ 討論を中心とした時間配分を留め、など討論に対する時間管理に関する意見 (7件)
- g) 防災危機管理パネル
 - ・ 内容が良くわからない、専門内容が生かされる行事が良いなどの内容に関する意見 (3件)

2-5 学術講演会共通セッションの内容、プログラム編成等の意見について

- ・ セッション毎にまとまりがあり聴きやすい、など現状で問題ないという意見 (8件)
- ・ 適切な分類をしてほしい、などセッションの分類に関する意見 (4件)

3. 電子申込みについて



3-4 使いづらさを感じる点、改善が必要である点について

【WEBシステム】

- ・ 申込みが煩雑でもっと簡単に出来ないか、会員番号で管理できるものは、記入しなくてもよいシステムにした方がよい。 (3件)
- ・ 申し込み方法が分かりにくい、説明が不十分。 (7件)

【講演・聴講申し込み】

- ・ 講演と聴講申し込みは、一括のほうが申請性がよい。 (3件)

【支払方法】

- ・ クレジットカードによる支払いを可能してほしい。 (23件)
- ・ 銀行振り込みによる支払いを可能してほしい。 (5件)
- ・ コンビニでの支払いを可能してほしい。 (3件)

4. CD-ROM 概要版の改善提案等について

- ・ 一括印刷できるように (章毎、カテゴリー毎など)。 (10件)
- ・ もっと早い時期に送付してほしい。 (8件)
- ・ 動作が重い・重い。 (6件)

5. 自由意見(改善点・要望について)

【内容】

- ・ 閉鎖的な土木に関する問題を議論するセッションもしくはシンポジウムがあるとよい。
- ・ 近隣の一般の人々も土木に関わる良い機会だと思うので、もう少し一般の人が参加できる場があれば良いと思う。
- ・ 建設業界としてマスコミに取り上げられるテーマを示して、広く大衆に訴えることが必要である。

【運営】

- ・ 景観のセッションと景観の研究討議会がだぶって設置されていた。こういうことがないようにしてほしい。
- ・ 案内係が元気に挨拶をしてくれて好感がもてた。
- ・ 学生会員を増加させるために、大学財での年次学術講演会発起会における単位の特典等のインセンティブを与えてはどうかな?
- ・ 若干の謝辞に対する得点を公表して、プレゼン技術の向上に活かして頂ければよいと思う。
- ・ 発表時間・討論時間がもう少し短いように思う。

【施設・会場】

- ・ 会場変更の説明・案内が不足している。 (7件)
- ・ 昼食に不便を感じる。(弁当の受け取り、昼食場所など) (4件)

【交通】

- ・ 会場へのアクセス向上を望む。 (18件)
- ・ もっと交通の便が良い会場にするべき。 (14件)
- ・ バスの予約に関する改善を望む。 (4件)
- ・ バスの運行が良い。 (3件)

以上

§ 2. 全国大会アンケートの分析

0. アンケート回収状況

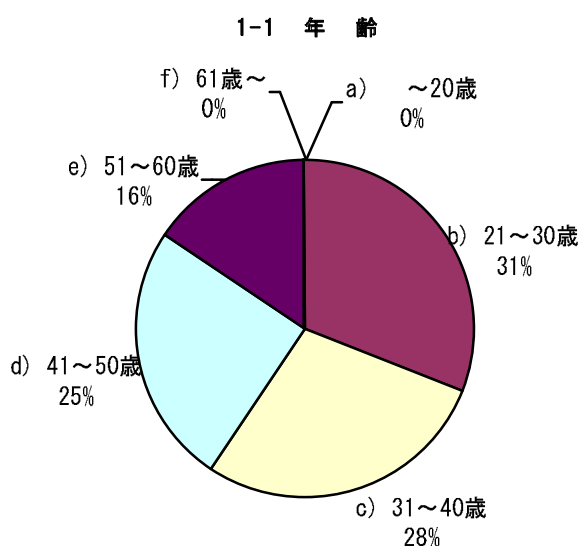
- (1) アンケート回収数 : 300人 (H19年: 220人)
- (2) 全国大会参加者数 : 講演者 3,151人、聴講者(座長含む) 2,106人、合計 5,257人
- (3) アンケート回収率 : 5.7% (H19年: 4.3%)
- (4) アンケート回収方法 : 回収箱による回答者 280人、FAXによる回答者 20人

1. あなたの事についてお聞きします

1-1 年齢 (有効回答人数: 287)

- a) ~20歳 (0)
- b) 21~30歳 (89)
- c) 31~40歳 (81)
- d) 41~50歳 (72)
- e) 51~60歳 (45)
- f) 61歳~ (0)

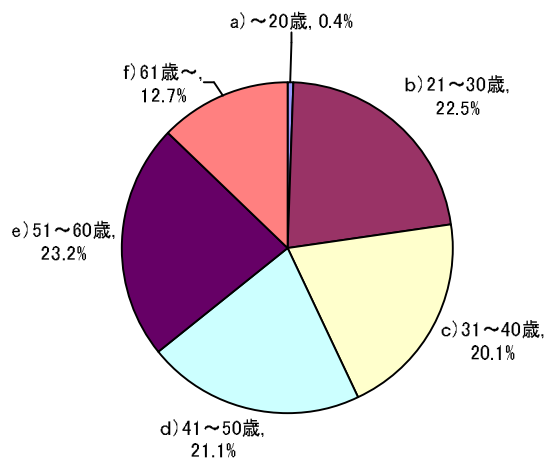
アンケート回答者は 20代、30代、40代で8割以上を占める



[参考: 土木学会員の年齢構成]

年齢	人数(人)	比率
a) ~20歳	160	0.4%
b) 21~30歳	8,264	22.5%
c) 31~40歳	7,403	20.1%
d) 41~50歳	7,758	21.1%
e) 51~60歳	8,526	23.2%
f) 61歳~	4,665	12.7%
	36,776	100.0%

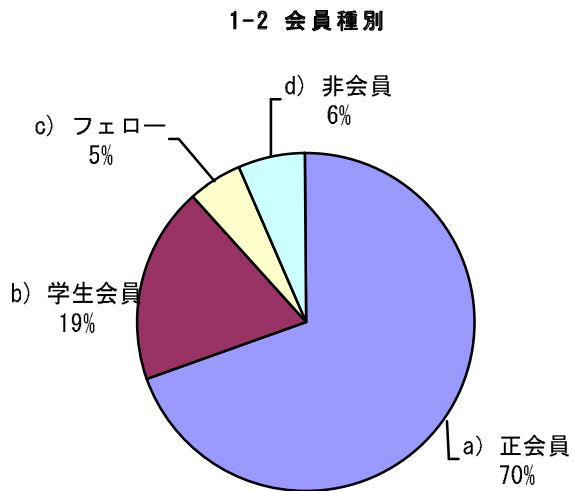
2008年10月31日現在



1-2 会員種別 (有効回答人数 : 296)

- a) 正会員 (207)
- b) 学生会員 (56)
- c) フェロー (16)
- d) 非会員 (19)

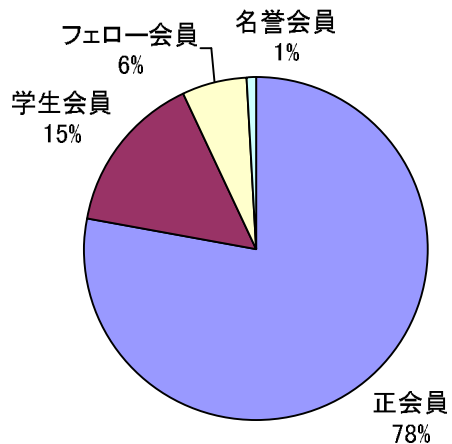
学生会員のアンケート回答比率は、土木学会全体の会員比率よりも若干高い。



[参考 : 土木学会の会員種別]

種別	人数(人)	比率
正会員	28,633	78%
学生会員	5,553	15%
フェロー会員	2,315	6%
名誉会員	275	1%
	36,776	100%

2008年10月31日現在

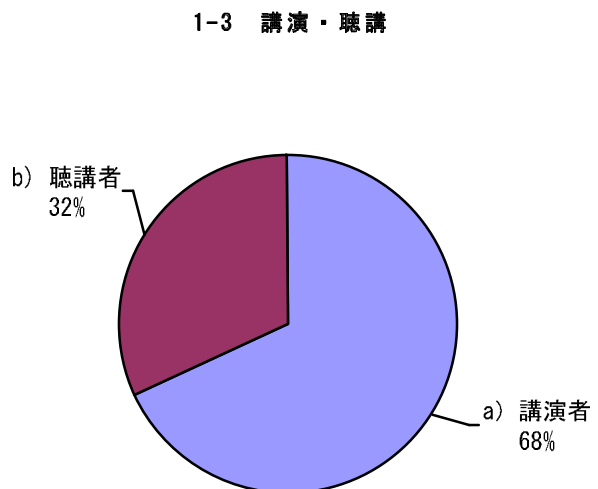


出典 : 2008年土木学会調べ

1-3 講演・聴講 (有効回答人数 : 293)

- a) 講演者 (199)
- b) 聴講者 (94)

参加者に占める講演者の割合は昨年度より下がっているが、アンケート回答者に占める講演者の比率は、昨年度の比率(61%)よりも高い。



[参考 : 講演者の割合]

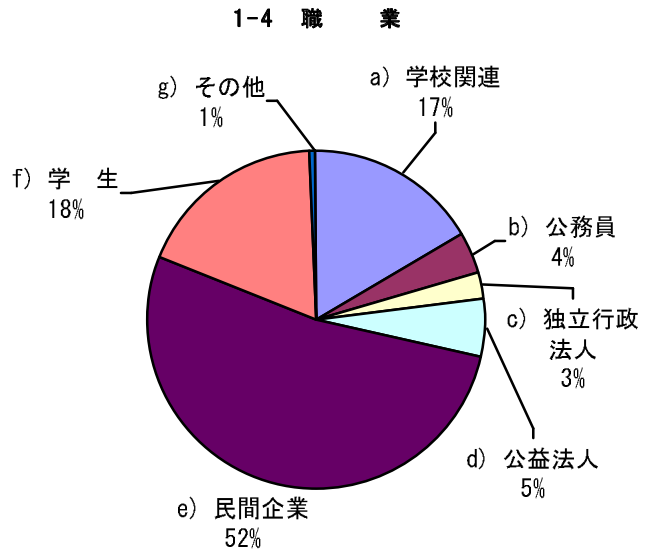
全参加者数に対する講演者の割合 (実績値)

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
参加者受付数	6,537	6,078	6,853	6,126	5,700	5,366	5,258	5,145	5,257
講演者数	3,887	3,743	4,326	4,011	3,672	3,272	3,164	3,217	3,151
講演者割合	59%	62%	63%	65%	64%	61%	60%	63%	60%

1-4 職業 (有効回答人数 : 297)

- a) 学校関連 (50)
- b) 公務員 (11)
- c) 独立行政法人(8)
- d) 公益法人 (16)
- e) 民間企業 (157)
- f) 学 生 (54)
- g) その他 (2)

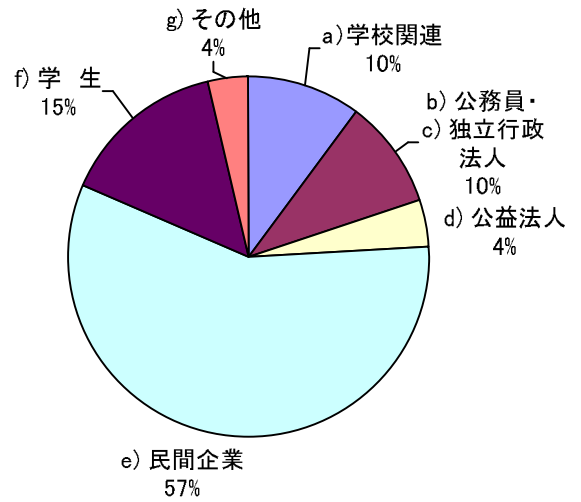
民間企業のアンケート回答
比率が、約半分を占める。



[参考 : 土木学会員の職業]

職業	人数(人)	比率
a) 学校関連	3,778	10%
b) 公務員・c) 独立行政法人	3,543	10%
d) 公益法人	1,557	4%
e) 民間企業	21,036	57%
f) 学 生	5,553	15%
g) その他	1,309	4%
	36,776	100%

2008年10月31日現在

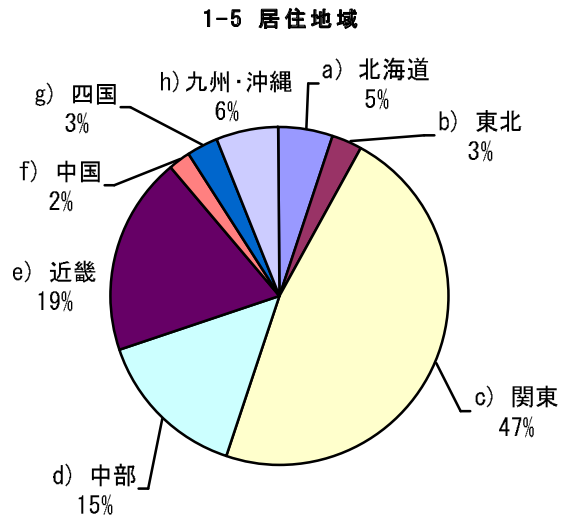


出典 : 2008年土木学会調べ

1-5 居住地域 (有効回答人数 : 251)

- a) 北海道 (13)
- b) 東北 (7)
- c) 関東 (118)
- d) 中部 (37)
- e) 近畿 (48)
- f) 中国 (6)
- g) 四国 (7)
- h) 九州・沖縄 (15)

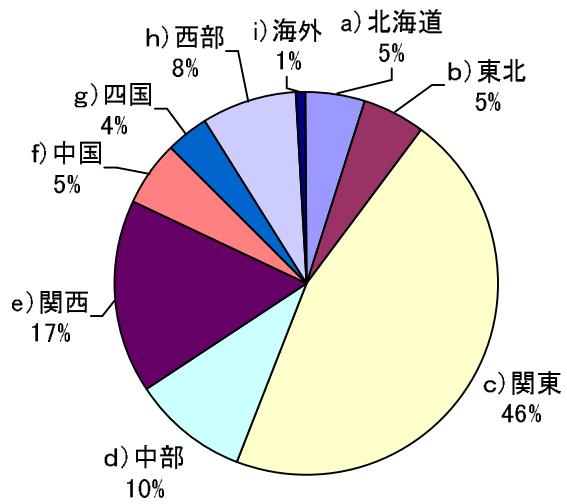
開催地である東北の回答比率は、土木学会会員比率より少ない。



[参考：土木学会員の居住地域]

支部	人数(人)	比率
a) 北海道	1,879	5%
b) 東北	1,890	5%
c) 関東	16,796	46%
d) 中部	3,539	10%
e) 関西	6,073	17%
f) 中国	1,982	5%
g) 四国	1,367	4%
h) 西部	2,982	8%
i) 海外	268	1%
	36,776	100%

2008年10月31日現在



出典：2008年土木学会調べ

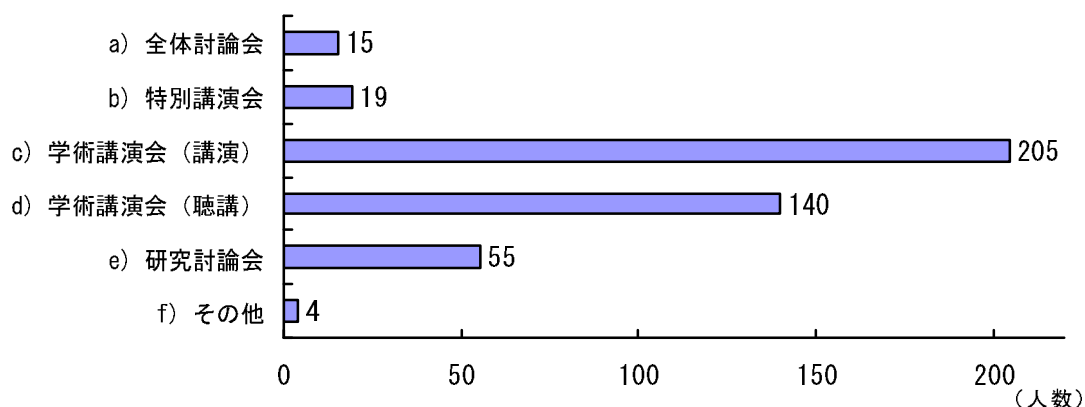
2. 参加目的についてお聞きします

2-1 今回参加した主たる目的は何ですか。(複数回答可) (有効回答人数：298)

- a) 全体討論会 (5%)
- b) 特別講演会 (6%)
- c) 学術講演会(講演) (69%)
- d) 学術講演会(聴講) (47%)
- e) 研究討論会 (18%)
- f) その他 (1%)

参加の目的としては、学術講演会の講演と聴講が大部分を占める。

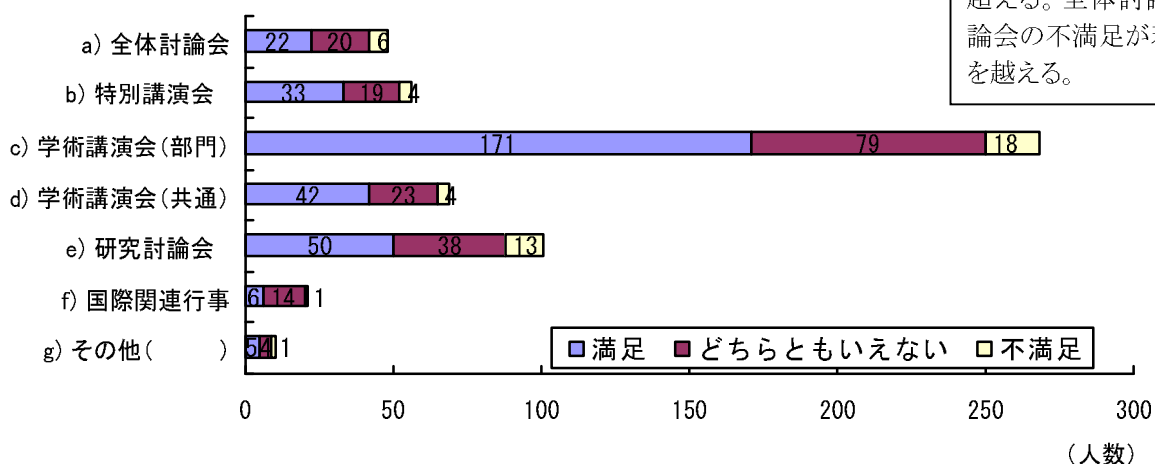
2-1 今回参加した主たる目的は何ですか。(複数回答可)



2-2 今回参加した行事とその感想を教えてください。

	満足		どちらともいえない		不満足		総数 人数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
a) 全体討論会	22	46%	20	42%	6	13%	48
b) 特別講演会	33	59%	19	34%	4	7%	56
c) 学術講演会(部門)	171	64%	79	29%	18	7%	268
d) 学術講演会(共通)	42	61%	23	33%	4	6%	69
e) 研究討論会	50	50%	38	38%	13	13%	101
f) 国際関連行事	6	29%	14	67%	1	5%	21
g) その他	5	50%	4	40%	1	10%	10

2-2 今回参加した行事とその感想を教えてください。



学術講演会の満足度は6割を超える。全体討論会、研究討論会の不満足が若干高く1割を越える。

回答者数が多い「学術講演会(部門)」と「研究討論会」を対象として、回答者属性ごとの集計・分析を行った。

■ 「学術講演会(部門)」

「学術講演会(部門)」 年齢と満足度の関係

	満足		どちらともいえない		不満足		総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
b) 21～30 歳	54	68%	22	28%	4	5%	80
c) 31～40 歳	44	59%	22	30%	8	11%	74
d) 41～50 歳	44	68%	19	29%	2	3%	65
e) 51～60 歳	25	64%	12	31%	2	5%	39
無記入	4	40%	4	40%	2	20%	10
総計	171	64%	79	29%	18	7%	268

学術講演会(部門)の満足度は、年齢にかかわらず6割程度と高い値である。

「学術講演会(部門)」 職業と満足度の関係

	満足		どちらともいえない		不満足		総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
a)学校関連	29	63%	13	28%	4	9%	46
b)公務員	5	56%	4	44%	0	0%	9
c)独立行政法人	5	83%	0	0%	1	17%	6
d)公益法人	10	67%	5	33%	0	0%	15
e)民間企業	86	62%	41	30%	11	8%	138
f)学生	34	67%	16	31%	1	2%	51
g)その他	1	50%	0	0%	1	50%	2
無記入	1	100%	0	0%	0	0%	1
総計	171	64%	79	29%	18	7%	268

学術講演会(部門)の満足度を回答人数の多い職業別で見ると、学生の満足度が7割弱と高い値である。

■ 「研究討論会」

「研究討論会」 年齢と満足度の関係

	満足		どちらともいえない		不満足		総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
b) 21～30 歳	10	53%	7	37%	2	11%	19
c) 31～40 歳	18	62%	8	28%	3	10%	29
d) 41～50 歳	13	43%	12	40%	5	17%	30
e) 51～60 歳	6	35%	8	47%	3	18%	17
無記入	3	50%	3	50%	0	0%	6
総計	50	50%	38	38%	13	13%	101

研究討論会の満足度は、年齢が上がる程低くなっている。20代、30代は50%を越えているが、40代、50代は50%以下である。

「研究討論会」 職業と満足度の関係

	満足		どちらともいえない		不満足		総数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
a) 学校関連	9	45%	9	45%	2	10%	20
b) 公務員	2	67%	1	33%		0%	3
c) 独立行政法人	2	50%	2	50%		0%	4
d) 公益法人	5	63%	3	38%		0%	8
e) 民間企業	27	49%	18	33%	10	18%	55
f) 学生	4	40%	5	50%	1	10%	10
g) その他	1	100%		0%		0%	1
総計	50	50%	38	38%	13	13%	101

研究討論会の満足度を職業別でみると、回答者の多い学校関連、民間企業ともに満足は50%以下である。特に、民間企業では不満足が2割弱ある。

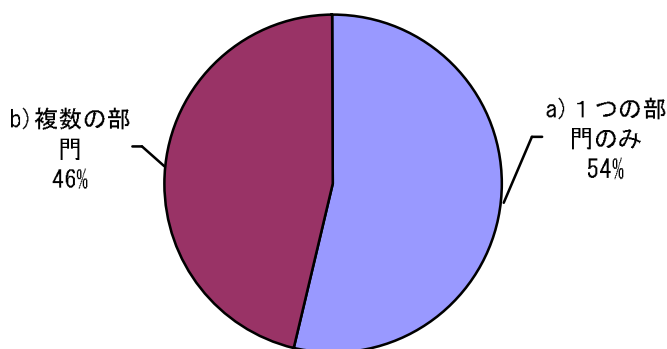
2-3 学術講演会に参加した方にお聞きます。参加したセッションは1つですか、複数ですか。

(有効回答人数：283)

2-3 学術講演会に参加した方にお聞きます。参加した部門は1つですか、複数ですか。

- a) 1つのセッションのみ (152)
- b) 複数のセッション (131)

学術講演会への参加者は、半数以上が1つの部門のみへの参加である。



2-4 設問 2-2 で「不満足」と回答された方にお聞きます。不満足に感じる点、改善が必要である点はどこですか。

不満足な点としては、下記の意見が多い。

- ・ マイクがなく、聞こえづらかったという意見。
- ・ 会場が狭く入れなかったという意見
- ・ エアコンが効きすぎ寒い、音がうるさいという意見
- ・ 発表の内容、討議を含めてレベルが低い等の意見
- ・ 発表時間が短い、時間配分が問題等の意見

【施設】

- ◆ マイクが無いと聞き取りにくいなど、音響設備に関する意見
 - ・ 声が小さくて聞こえないことがあります。部屋が広いと特に感じます。マイク等を用意できたらどうかと。
 - ・ マイク等の準備不足。質疑応答の内容が聞き取りにくかった。
 - ・ 複数のセッションでワイヤレスマイクの不調あり、残念だった。事前準備を十分に
 - ・ 広い部屋では発表の音が聞こえにくかった。マイクの準備が必要ではないか
 - ・ なぜマイクを用意しなかったのでしょうか？広い部屋では講演者の声がほとんど聞こえないこともありました。
 - ・ マイクを用意すべき。→聞きにくい。
 - ・ マイクがなく聞き取りづらい。
 - ・ 研究討論会では、マイクとスピーカーを用いて欲しい。大きい部屋では聞こえない。討論なので、図やスライドも無いので全くわからない。
 - ・ 会場に発表用マイクが欲しい。
 - ・ マイクがなく、聴きづらかった(研究討論会場にはマイク必要)
 - ・ マイクがないため声が聞き取りにくい
 - ・ パネリストの音が聞きづらい点があった(マイクが入っていたが若干1名声が小さく・・・)
 - ・ 女性の発表時には補助マイクがないと聞こえづらい。
 - ・ 講演者、座長の声が小さかった。特に講演者に向かってしゃべる時の座長の音が聞こえづらくどういった質問が出たかわからなかった。
- ◆ 部屋が狭い、など会場に関する意見
 - ・ 部屋が狭く入るところが無かったため参加が困難であった。
 - ・ 最後列は通路として確保して欲しい
 - ・ 各部門により講演者の混雑度が違う。講演者の多い部門には広い教室をわりあててほしい
 - ・ 研究討論会が 10 分ほど長くなり特別講演会会場に到着するのが 5 分ほど遅れたため会場に入れませんでした。もう少し広い会場にしてほしいです。
 - ・ ドアの開閉音がうるさい。
 - ・ 発表時間の移動時に他室に入りづらい。
 - ・ 会場内がいっぱいになり、座る場所がないときがある。
 - ・ B棟のエアコンの音が大きすぎて、話が聞こえない。事前にエアコンフィルタを掃除して欲しい
 - ・ エアコンの音がうるさくて聞きにくい。
 - ・ 内容は満足していますが、設備が古く、聴講の快適性が低かった。特に空調の音がうるさい割にマイクの使用が

なく、発表者の声が聞こえづらかった。

- 会場が狭い
- 部屋の後ろまで席があり奥への移動が妨げられること散見
- 部屋が寒すぎた。
- セッションにより立席加複数見られ、次回考慮要
- III部門の教室が少し小さかったのでは・・・
- もう少し会の内容をふまえた大きさをお願いします。
- 会場が狭く座れなくてきつかった(研究討論会)。

◆ その他

- 電源くらい前もってチェックすべき
- 会場内の席数が限られており、別室のモニタールームで討論会を聴講したが、映像が汚く(画素数が小さい)見づらかったため。
- PCの性能不足 映像メディアの研究発表者側の問題ではあるが、研究討論会であるので
- 講演用パワーポイントは100MB までOKとなっており、講演前にパソコンの起動を確認していた。その後、停電によりパソコンの電源がおちたためか、パソコンのパワーが足りなかったのか、講演中にパワーポイントが動かなくなっていました。予期していない事態でしかたないかもしれないが、納得できる講演ができず、非常に残念だ。
- オフィス2007で作成した図を2003の相互で保存したにもかかわらず発表の時、表示がされなかったので2007で作成する人のことも考えて会場のノートPCをすべてオフィス2007にするか各自のノートPCにて発表できるようにしていただきたい。また、忘れていたこともあると思うが発表前に座長から声をかけてもらえれば幸いです。

【内容】

◆ 発表・討議も含めてレベルが低いなどの意見

- 内容がCS-7の目的と合っていない論文があった。
- 学生による発表の多くは朗読や理解度に難があった。座長によるフォローが大変そうであった。
- 部門:レベルが過度に低い論文がある。論文集のレベル低下にも繋がっている。
- 発表論文の内容に進歩がみられない(リサイクル関係)。
- 研究討論会の案内文と内容が一致しているとは思えなかった。話題提供者の方が「趣旨を理解できていなかった」と本人自らが言っていたほど。
- 土木技術と映像の部門がひどかった。研究討論会と呼んでいいのかも疑問。あれなら最初から最後まで映像を流したほうがマシ。映像をどのように見せるかを議論するのかわいたら、自社の映像作品の構造物の説明をしている。そんなものは講演会の方にいってもらいたい。
- 討論自体の盛り上がり不足(研究討論)
- 内容がありふれている。
- 中身のレベルが低い
- 学生に共著者来ていない。質問に答えられず研究の意図を聞きたかった。
- 講演内容が面白くなかった。
- また、話の内容が身近なものではなかったため、興味がわかかった。
- 視点がアカデミックに偏っている。
- 民間でも本質的な民間部門のニーズや外部視点を入れることが必要ではないか。
- 研究討論会について、踏み込んだ議論がなく、当たり前であたりさわりのない意見が多い。議題をもっと絞り込んで討論すべき。

- また、討論会は討論ではない。発表と全く同じ。進行方法を統一して欲しい。

▪

◆ その他意見

- CommonMP の討論会は非常に良かった。

【運営】

◆ 発表時間が短いなど、時間配分に関する意見

- 研究討論会での聴講者との討論の時間をもう少し長めにとって欲しい。活発な意見が少なかった。
- 討論会を聴講に行ったのですが、満席で入れませんでした。せめて、講義スライドのプリントアウトが欲しかったです。
- 学術講演会の発表者が多すぎる。聴講者が時間に余裕をもって選べるようにして欲しい
- 研究討論会:数多く、パラレルセッションになっており、聴きたいものが聴けない。
- 基本的には満足ですが、発表時間の拡張が必要と思います。
- III-3 の会場で、発表時間や質疑応答時間がいつ、どのくらいあるのかわかりにくかった(できれば黒板に書いてほしい)。
- 発表時間が7分では全てを伝える事ができない。せめて10分必要。
- 時間配分が足りない。
- 質問時間が短い
- 発表時間が短すぎる。
- 朝の開始時間が早い。
- 質疑時間が短い。

◆ シャトルバス、開始時間などに関する意見

- セッション開始時刻とシャトルバスの運行時間との関係で間に合わないことがあった。
- 開始時刻の調整、シャトルバスの増便
- 30分おくれ

◆ その他意見

- IIの会場はわかりやすかったので会場毎形式が違ったら掲示してほしい。
- 発表のデータ等の仕様に関する記述がホームページになかった。学会誌には7月号?に記載されていましたが、少々困りました。
- やはり聴きたい研究討論が多数あり、同時間にダブっているためどれかを選択させるを得ない。実際に参加しないとあとの報告では実感がつかめない。
- セッションがバラバラで、得意部門がない。

2-5 設問 2-2d)学術講演会共通セッションに参加された方にお聞きします。内容、プログラム編成等の意見をお聞かせください。

学術講演会共通セッションで不満足な点としては、下記の意見があった。

- ・ セッションの分け方について検討が必要という意見
- ・ 日程、開始時間等について問題があるという意見。

◆ セッションの分け方、プログラム等に関する意見

- ・ 共通の何を基準として考えるのかわからない。
- ・ 内容がCS-7の目的と合っていない論文があった。
- ・ アレンジが大変と思いますが、優秀な研究が第二、第三希望に流れているようです。
- ・ 土木教育一般のプログラム編成方法が分かりにくい。もう少しグルーピングして編成できないのか？
- ・ もう少し細分化しても良いのではないのでしょうか。
- ・ できるだけ分野別のセッションにした方が良いと思う。(CS-5)
- ・ 発表順を内容毎に考え直した方が良い。
- ・ プログラムが見にくい
- ・ 土木教育は重要なテーマであると思う。プログラムに特に異論はない。
- ・ プログラム構成が明確で大変良いセッションだと思う。
- ・ セッションの分け方は良かったと思います。
- ・ 土木教育の部門に参加しました。土木教育の必要性を再認識できる有意義な内容でした。教育の対象者を「小・中」「一般住民」などと、分割したセッションとしたことも良かったです。

◆ 日程、開始時間、発表時間等に関する意見

- ・ 3日間の開催で2日目の午後にも学術講演会のプログラムを入れて出来るだけ期間中のロスがないようにしていたければ遠方から来る場合は助かります。
- ・ セッションの人数が多い少ないによって発表時間がバラバラなのが発表者として気になりました。
- ・ 発表者数が変わり減った場合は質問の時間を多くとってもらいたかった。
- ・ 初日の8:30開始は、発表者にとって少し早いと思います。
- ・ 初日と2, 3日目で開始時間を変えても良いのでは？

◆ その他意見

- ・ ターゲット、テーマがしぼられており、内容の濃い話が聞けた。しかしながら、一般に広く公開している感はなく、村社会という感が残った。
- ・ 現状で課題となっている話題についてとり上げてほしい。
- ・ 土木史等もあって良いと感じるが・・・教育の現場について熱く議論されていたと思います。
- ・ 内容にバラツキが出るのは仕方のないことで、むしろ視点が広がっておもしろいのでは。
- ・ 参考になりました。
- ・ 良かったと思う。

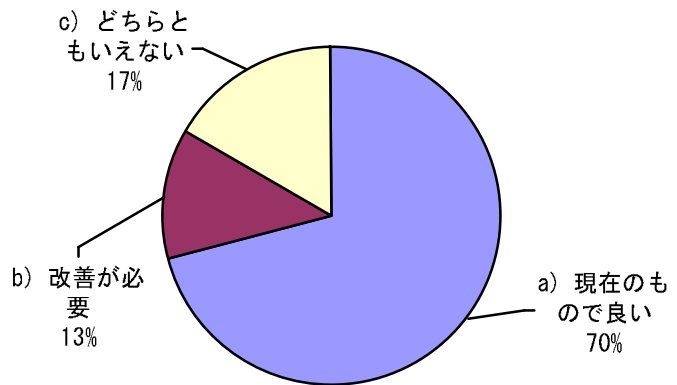
3. 電子申込みについてお聞きします

3-1 申込みのWEBシステムは使いやすいですか。（有効回答人数:271）

- a) 現在のもので良い (192)
- b) 改善が必要 (34)
- c) どちらともいえない (45)

7割の人が現在のもので良いという意見である。改善が必要という意見は1割強である。

3-1 申込みのWEBシステムは使いやすいですか。



〔参考:過去のアンケート結果〕

WEBシステムに関する過去のアンケート結果

	H13	H16	H17	H19
a)現在のもので良い	39%	55%	64%	65%
b)改善が必要	25%	9%	10%	17%
c)どちらともいえない	3%	36%	26%	18%

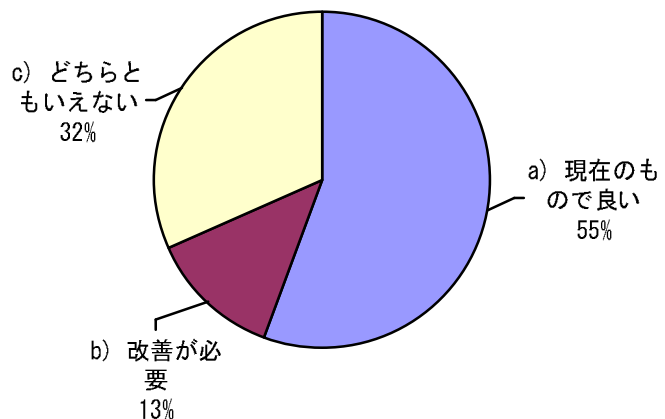
3-2 現在、講演申込みと聴講申込みの時期およびシステムが異なりますが、使いづらさを感じますか。

(有効回答人数:266)

- a) 現在のもので良い (148)
- b) 改善が必要 (34)
- c) どちらともいえない (84)

5割強の人が現在のもので良いという意見である。改善が必要という意見は1割強である。

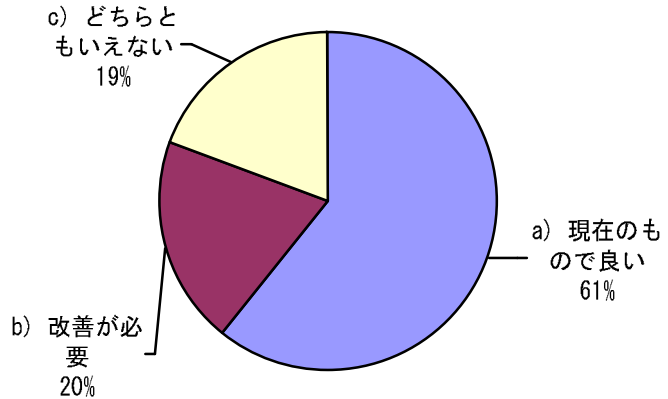
3-2 現在、講演申込みと聴講申込みの時期およびシステムが異なりますが、使いづらさを感じますか。



3-3 登録料の支払い方法について、どのように思いますか。（有効回答人数:267）

- a) 現在のもの良い (162)
- b) 改善が必要 (53)
- c) どちらともいえない (52)

3-3 登録料の支払い方法について、どのように思いますか。



6割の人が現在のもの良いという意見である。改善が必要という意見は2割である。

[参考:過去のアンケート結果]

登録参加料支払方法に関する過去のアンケート結果

	H16	H17	H19
a)現在のもの良い	45%	60%	57%
b)改善が必要	12%	13%	24%
c)どちらともいえない	43%	27%	19%

3-4 設問 3-1、3-2、3-3 で「b 改善が必要」と回答された方にお聞きします。使いづらさを感じる点、改善が必要である点はどこですか。（自由意見）

電子申込みで不満足な点としては、下記の意見があった。

- ・ 申込みの Web システムがわかりにくい、手間がかかる等という意見
- ・ 申込み締切時期が早すぎるという意見
- ・ クレジットカード決済、コンビニ決済を求める意見

◆ Web システムの使い勝手に関する意見

- ・ 土木学会からの申込みページへの行き方がわかりにくかった。（これだけ大きい学会ならもう少し分かりやすくてもいいと思います）
- ・ コンテンツの構成がわかりにくかった。交流会参加はどこから申し込むのか発見するまでに時間がかかった。
- ・ WEB の内容が理解し難い所が多々ある。
- ・ 説明が難解ではないか？ Webロールプレイン式にもしくは旅行の申込などの様な方法で学習しつつ入力できる方法を。
- ・ 全体的にわかりにくい
- ・ 3-2: 使いづらいというより説明が不十分。
- ・ 入力項目が多すぎて分かりづらい。

- 申込み過程が長すぎる。
- 3-1 手間がかかる。記入が多い。
- 申し込み事項が細かすぎる
- Web システムは毎年同じ内容を入力しなくても良い様にしてほしい。
- 会員Noから氏名や所属はピックアップして欲しい。
- 3-1 初めに入力させる項目の一覧を示して欲しい。入力中に調べる行為が出てくる場合がある。
- メ切日にアクセスが困難であった。
- アクセスが集中するためになかなかつながらない。
- 投稿の際サーバーが受け付けてもらえなく、時間ぎりぎりになったのでどうにかできないものでしょうか。
- 今回投稿の際、システムエラーで投稿できず困りました。メ切近は投稿が殺到すると分かっているので次回改善してほしい。
- WEB サービスがとまった。
- 3-1 Web の入力中に、中断してしばらく時間が経ってから再開するとはじめからの入力になり、不便である。
- 聴講者が登録するのが遅くなるが多くなって、当日分になることが多い。
- システムはシンプルかつ一本化された方がよい。
- 申し込み完了の確認メールくらいは欲しい
- 投稿後、修正ができるようにして欲しい。
- 投稿後にミスを見つけても修正ができないので困る。1週間ほど修正可能な期間が欲しい。
- 一度登録してしまうと差替がきかない。
- 原稿ファイルについて再アップロードが可能となるようにして欲しい
- 申込で、セキュリティの高い会社から、申込できない。
- 学会に入会して間がないし、ID 番号がないので申込ができない。実際そういう話を聞いた。
- 3-1: 申込時のメールアドレスが変更となった場合、手続きが面倒である。
- 3-2 システムは統一してほしい
- 3-2: 同じ方がよい
- 聴講も Web で手続きできるようにして欲しい。
- FAX で聴講の申込みをしたのち、受領(入金の確認も含め)の連絡が頂きたい。また、振り込みの用紙の半券では、何に対しての支払いなのかがわからないため、会社の精算が承認されない。領収書として認められる書類が残るように、もしくは発行してもらえるとありがたい。
- FAX 送信は必要ないと思います。
- 支払用紙のコピー送付等、省略できないでしょうか

◆ 申込み時期、締切等に関する意見

- 講演申し込みの時期が早く、地方支部の講演とも時期が近いため、5月頃にしてほしい。
- 申込時期が早い。聴講時期と合わせるべき。
- 講演申込が早い。
- 3-1: 聴講について、事前申込メ切が早すぎる。せめて1週間前ぐらいまで延長すべきである。
- 聴講申込時期(事前)を遅くしても良いのではないか。(社内の日程調整が直前まで決まらない)
- 聴講申込みに期間があるのは不便。当日支払いだと経費処理が面倒なので行かないという人もいる。
- メ切をもっと先にして欲しい。
- 締め切りが早過ぎる。
- 締め切りを5月にして欲しい

- 年度末の忙しい時期にするのが不思議。
- 登録料の〆切が早すぎる。講演申込みと聴講申込みは同じ時期で良いと思います。
- 会社では登録完了をもって支払いを会社で行うため、登録完了から支払い締め切り日の間に余裕を持たせてほしい
- 申し込み時期が早いので領収書等の発行はなし振込書のみとなり聴講者と行動を共にする場合のお金が合計しづらい。
- 3-1: 論文締め切り日はパニックしている。締切日には会員番号と論文提出のみ行って、その他申込みは後日にした方がシステムが安定するのではないか？
- CD-ROM化するのであれば、PDFファイルの投稿時期をもう少し遅くしても良いのではないか？
- 3-2: 時期は同じでよいのでは
- 聴講の申込みが7/末までが¥10,000、8/1～¥12,000 となっているが、もう少し(8/15(盆明け)まで) ¥10,000 の時期を長くしてほしい。
- 金額が時期異なる理由が不明。
- 申込みの期間

◆ 登録料の支払い方法に関する意見

➤ クレジットカード決済に関する意見

- 近くに郵便局等がないため、支払いが不便。クレジットカード決済があると便利。
- WEBシステムが全体的に使いにくい。登録料はカードで払えるようにしてほしい。
- クレジットカード等での支払いもできると、振込の時の手間が省けてありがたいです。
- WEBなのでクレジット決済があって良いと思うが。
- Webでのカード決済を認めるべき。
- クレジットカードでweb上にて払い込めるようにしてほしい。
- すべて・クレジット払いができればうれしい。
- カード払いOKにする・再修正の登録が必要
- クレジットカードが使えるようにしてほしい。
- クレジットカード決済ができるようにしてほしい。
- クレジットカードによる支払いを希望
- クレジットでの支払いが出来ると良いと思います。
- カード支払いを可としてほしい。
- カード支払ができるように。
- クレジットカード払いを可能にして下さい。
- クレジット決済は会社の手続き上、不可。

➤ コンビニ決済に関する意見

- インターネットでの決済のように、バーコードを印字してコンビニなどで支払いができるようにしてほしい。
- 登録料は、コンビニ決済を検討されたい。銀行まで行くのは時間的制約がある。
- 郵便のみでなくコンビニを含めて支払可能になるよう考えてください。
- 郵便局よりコンビニを使用できるように改善すべき。
- コンビニでも支払えるようにしてほしい。
- コンビニでの支払いを可能にして欲しい
- 会費同様コンビニ払等も可能だとありがたいです。

- コンビニ支払いできるようにしてもらいたい
- 振込みをコンビニで出来るようにしてほしい
- 支配方法の複数化 コンビニ支払い等
- 銀行可あるいはコンビニ決済を導入してほしい

➤ その他決済に関する意見

- クレジットカード、コンビニ支払いも可能にして欲しい(3-3について)
- 一括での支払いもしくは電子マネーの活用も良いと思います。
- 3-3については銀行振り込みにしてほしい。
- 登録料の支払い方法は口座振替の一本化した方が迷うことがなくて良い。
- 校費で直接支払うため、請求書払いを追加してほしい。
- 3-3:公費にて支払う場合が多いので、ちゃんとした領収書の発行が望ましい。
- 個人で支払わずに法人に請求がきて支払えれば良いのと思う。
- 登録料は会社全体で複数人分一括で払えるとよい
- 会社払いの登録料は、後払いが助かる。
- 支払い方法は昨年度の方法がよいと思います。
- 支払い方法は、昔の様に請求書払い(会社処理できる様に)を復活させてほしい。
- 今時振替用紙のみという支払い方法は不便のみ
- 3-3:郵便局は休日はやっていないので不便さを感じました
- 支払いのコピーがいらないようにしてほしい(郵便振替)
- 振込みのみで OK にしてほしい
- 払い込みを同時にしてほしい。

◆ その他の意見

- PC で PDF を見た時、文字が薄い。
- DVDに変更し1人当りの容量を増やすべき。
- 安くしてほしい
- 公務員なので支払い手続きが大変

4. 概要版について

概要集については、下記の意見があった。

- DVDにして1枚にすべきという意見
- 印刷、検索機能の充実を求める意見
- 起動が遅い、重い、使いづらい等システムの改善を求める意見

4-1 CD-ROM 版について改善提案などがあれば、ご記入下さい。(自由意見)

◆ DVDにすべき、1枚にすべき等の意見

- DVDにして1枚に統合
- DVDにして1枚にするべきである。

- DVD-ROM 化して 1 枚にしてほしい。
- DVD にして 1 枚にして欲しい。
- 2 枚組ですので、CD を入れ替えるのが手間であると感じます
- 1 枚におさまれば良い。
- CD1枚になると良い。(DVDでも可)
- DVD にして 1 枚にして欲しい。
- DVDにして1枚にできるのでは(DVD-ROMがついていないパソコンは売っていないのでは)。
- メディアの仕様を例えばDVDに変更して、現状2枚を1枚にすると、検索、印刷などが効率的にできる。
- DVD版の1枚にして欲しい。
- 容量の問題だと思いますが、DVD等で1枚にして欲しい。
- DVD版にして1枚にまとめて欲しい。

◆ 印刷に関する意見

- 連続印刷がうまく動かない。講演番号順に印刷されない。
- セッションの単位の一括印刷が出来るが良い
- チェックを入れて一括印刷できると良い。
- セッション毎の一括印刷機能
- セッション別一括印刷できるようにしてほしい。
- プリントアウトできる目次がついていればデスクで整理するのが容易になりそうに思います。
- 一括印刷ができるように(章orセッションごとに)
- 印刷を1項目ごとではなく選択したもの全てを一括で出力できるようにしてほしい。
- プリントアウトの設定(裏表印刷)ができるようにしてもらいたい。
- キーワード等でまとめて印刷できる機能があれば良い。
- 一括印刷機能は便利でした。
- 一括で印刷する機能が欲しい(I-007～I-115とか)
- 検索して選択した論文を一括して印刷できると良い。
- 複数のファイルを選択し、一括で印刷できる様にして欲しい。例) 1セッション分一括印刷等

◆ 検索に関する意見

- 検索して別CDの度に終了に待たされるのはおかしい。
- 検索がうまく使えない場合がある
- 検索しなくても全体ページが一読できるように工夫してほしい
- 検索ソフトウェアの動作が少し遅いように思います。
- 検索も容易で良いと思う。
- 検索重い。
- CD-ROMの中身をハードディスクに移動し検索したらアプストとのリンクができてなかった。
- 検索システムが若干重い。
- 部内と番号と氏名で検索できるように希望します
- 講演者の所属による論文の検索

◆ 起動が遅い、重い、使いづらい等システムに関する意見

- 起動が遅い

- データが重くて見るのに時間がかかる。
- コンテンツを多く入れて情報をたどれる様にリンクをつけているようだが、そのためか、重たいと感じた。簡易システムを希望
- 少し使いづらい気がする。もう少し簡易的な方法があるような気がする
- 開くのにとっても時間がかかる(動作が遅い)。1部門1枚にしてほしい
- 重い。ファイルメーカーにする意味があるのか？
- 重い(動作が)
- 重たくて起動に時間がかかるのが、早めに配布された点は良かった。
- 起動が遅い
- パソコンの処理速度などの動作環境によって動かない場合がある。(データ量が多いため)
- Windows Vista に対応してないのが困る。Linux など種々のソフトがあるので対応が望まれる。
- Vista で再生できないので不便。
- プログラムを終了させないのでCDを取り出すとエラーが出てCDを入れない限りエラーが消えないのは改善すべき。
- 全く使うことのない Windows 用のソフトは不要である。「お金の無駄」。PDFファイルのみフォルダに入っていればよい。もう少し安価に仕上げるべきである。
- 読み込みが遅い。
- マイコンピュータ → CD-ROM では実行できなかった。
- 特別なexeファイルが使いづらい。
- 「htmlファイルの自動起動」で十分であると思う。
- 1つのセッションのプログラムを見ようとする時に階層が多くてアクセスしづらい。
- 画面内でのコンテンツの大きさが不適切で見辛い。
- 「戻るボタン」を付けて欲しい。
- 「セッション」「全体」など、まとめて閲覧、DL 出来るファイルも付けて欲しい。もし、既にあるのであれば発見できなかった。
- セッションごとに1つのファイルにまとめて欲しい。
- FILEMAKER のロゴは不要
- PDF版の目次の所で、「題目・講演者名」をクリックすれば、概要に飛ぶ(リンク)ようにしてもらいたい。
- 投稿サイズも1MBに引き上げる
- PC にインストールし易いものにして欲しい。
- 動作に時間がかかる
- 各部門ごとにプログラムと概要を連動したものにしてほしい。
- セッションごとのPDFファイルがあればなお良い。
- 会場に静かにノートPCで閲覧できるよう、CDからPCへのコピーがしやすいようにして欲しい(マニュアル)

◆ 配布時期に関する意見

- 早く送って欲しい
- なるべく早く配布されれば良い。
- 配送時に CD が割れて(計2回)いたため運送会社に注意を促して頂きたい。
- 今回3週間前 OK

◆ Web 上での閲覧などの意見

- 不要。今回東北大学の電源問題もあり、電子版の概要集を参照するのは難しかった。著者検索などの機能もWEB上にあれば十分である。CD-ROMにして配るほどの価値は感じない。
- HP上にパスワードなどの制約を設けることにより、概要集を掲載した方が良いと思う。CD-ROMがあっても処分するのに困る。
- また、特にCDにして配布しないで、ホームページからDown Loadするようにして、コストを下げて、参加費を下げる。

◆ その他の意見

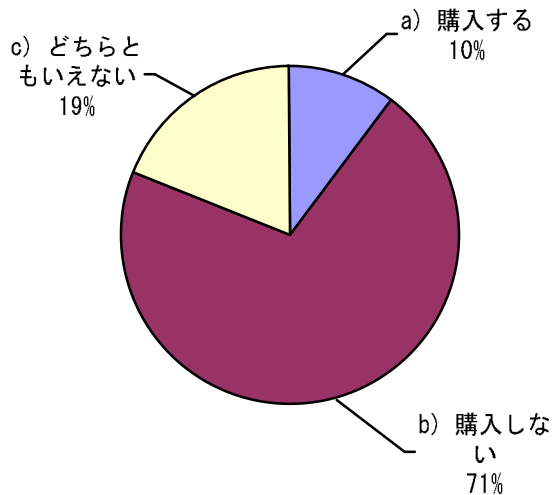
- 当日プリントできる施設(もしあったならアピール不足)を用意してほしい。
- 冊子版が欲しい
- 紙ベースの配布も選択出来るとありがたいです。
- 聴講したいセッション分のコピーを持参する手間は結構大変である。
- 私の場合IV部門の土木史2で講演番号IV-194ですが、検索211土木史2で始めてみつけた。「211」とは何？
- DISKが2枚になっているが、もう少し収録部門の番号を大きくして欲しい。
- カラー原稿となっておりわかりやすいと思います。
- 帰社後拝見させて頂いた上で評価させて頂きたい。
- 時代の流れとして、現在のCD-ROM版で仕方ないと思う。
- CDがコンパクトでよい。
- CD-ROM版で問題ないと思います。大会当日は、持参したノートパソコンで確認しながら講演を聞きました。
- 特になし。使い易いと思います。
- よい
- ありません。よくできていると思います。
- 満足。
- いまのままでよい。
- 高価すぎる

4-2 冊子版の概要集があれば、購入しますか(別費用) (有効回答人数:261)

- c) どちらともいえない (52)
- a) 購入する (27)
- b) 購入しない (185)
- c) どちらともいえない (49)

7割の人が購入しないと回答。購入するとした人は1割である。

4-2 冊子版の概要集があれば、購入しますか(別費用)



5. その他(自由意見)

その他自由意見としては、下記の意見が多かった。

- ・ 会場へのアクセス、シャトルバスに関する不満・意見
- ・ 電源トラブル、空調、マイク等会場設備に関する不満・意見
- ・ 開始時間が早い等のスケジュールに関する意見
- ・ 参加費用が高い等の意見
- ・ 会場が狭い等の意見

◆ 会場へのアクセス、シャトルバスに関する意見

- バスが少なすぎる
- シャトル便をもっと増やすべき(特に朝1番、夕方)
- バスが1台しかなく、アクセスが悪い。台数が必要です。
- 毎回記していることですが、会場アクセスの問題が大きいと思います。参加者数に対してバスなどの供給が少ないように感じます。
- シャトルバスが足りなさすぎる。
- バスの本数が少なすぎる。会場の場所が郊外の場合は交通機関のことを考えてほしい。
- バスの便をよくしてほしい。
- シャトルバスの台数を増やしたほうが良いと思います。乗りきれないで待たされ、セッションに遅れている人がたくさんいました。
- シャトルバスが来なかった。
- シャトルバスの増強を！！
- 駅-大学間の路線バスの本数とシャトルバスを合わせても足りない気がします。
- シャトルバスの本数が少なかったので本数を増やして頂きたい。
- バス乗り場の徹底。・シャトルバスの運行頻度を増やすと良いと思う。
- シャトルバスの本数を増やすべき。特に9:00, 18:00などラッシュ時の増発。100円の支払いは手間であり、

事前に券を郵送しておくなどできるのではないかな？

- バス運搬に待ち時間が長い
- どの時間帯でも10分以内に乗れるよう計画して欲しい
- シャトルバスの運行は、もう少し有効なダイヤ設定が合ったのではないかと感じた。
- シャトルバスについて、セッション開始前に間に合う時刻は増便する等、対応を考えてほしい。(9/10 8時頃)
- 今回はシャトルバスがうまく機能していなかったと思います(交通量が多い)
- 帰りのシャトルバスも運行して欲しい。17:00以降では遅すぎる。ほとんどのセッションは15:50で終わっている。
- シャトルバスが混んで不便ということを知りました。アクセスの改善が望まれます。
- シャトルバスの運行は改善して欲しい。
- シャトルバスの運行時間を長くして欲しい。路線バスを占領し、一般客に迷惑をかけるため。
- また、駅からシャトルバスの運行間隔をもっと短くして欲しかったです。
- 今回の場合、仙台駅でのバス待ち時間がかなりあった。
- シャトルバスが7:00~9:00、17:00~19:00という時間帯だったので使えなかった。路線バスも満席だったので、シャトルバスを利用する時間帯をもっと長くすべきだと思った。例えば、12:00~14:00の時間帯などを取り入れるなど。
- 東北大学では、アクセスへの案内が少なくわかりにくかった。シャトルバスを1日中配車して欲しかった。
- “仙台駅バス乗り場がよくわからなかった。
 - ①案内者の立つ位置が悪い。歩道橋の下り口と乗り場近くが良い。
 - ②案内板(案内者)のバス乗り場番号が小さい(⑨、⑩の)立っている位置と矢印がおかしいのがあった。
 - ③パンフ(土木学会)バス案内は、バスルート(途中駅名)も入れて欲しい。”
- 朝のバス待ち時間が長すぎる(乗れない間に合わない)
- タクシーは890円でなく1200円くらいかかった。正確な情報を提供していただくと共に、もっとシャトルバスの要量を多くした方が良くと思いました。
- 一般のバスの利用でも仕方が無いが、バス乗り場での案内人も欲しい、1つのバス乗り場でいろんな行き先のバスが来て、どれに乗って良いかわからない。
- バス(直通)の時刻表が欲しかった
- シャトルバスの時刻表や、発表する部屋の案内等をHPで詳しく載せて欲しい。
- シャトルバス乗り場がわからなかった。学会関係者の案内があってもよいのではないかな？
- “駅からのアクセスが非常に悪い。バスの運行形状に改善の余地が大いにある。(毎年のことだが今年は特に悪い)
- 交通計画の専門家が大量にいる。土木学会として非常に情けない。”
- イベントとしての収支に余裕があるのであれば、アクセス交通にももう少し資金と人を投入すべきだと思います。
- 会場へのアクセス
 - 主要駅からのアクセスが悪い
 - 会場アクセスの充実
 - 会場へのアクセス向上を望む。
- 交通のシャトルバスなどが良かった
- シャトルバスの運行は大変便利だった。誘導員の方も親切で良かった。
- 駅前に人を配置し案内するなど良かったと思う。
- 昨年より駅からの交通の便が良かった(昨年は最悪でした)。
- 駅から近い大学であるとよいと感じる。

- 会場へのアクセスは大変良かった。

◆ 電源トラブル、空調、マイク等会場設備に関する意見

- 今回は電気トラブルで進行に支障をきたしました。事前に電気容量等の想定は可能かと思うので発電機の準備を考えておく必要があったのではないかと思います。(会場として設備が古いのかも知れない)
- 電力等の前段階でわかる予防措置をすべきであったと思われる。これから先の大会で同じようなことがないように注意してほしい。
- 電源トラブルがあり、開始が遅くなったことは、事前に防ぐことができたのではないのでしょうか？
- また、電源トラブルで昼の時間が短くなったので、昼食を取れなかった。
- 会場の準備不足:工事中であったり、プレーカーが落ちるなど。
- 1日2回も停電(プレーカートラブル)は多いと思います。
- 1日目の電源が落ちた件、あらかじめ予想できたのでは。
- 電源は落ちないようにして下さい。
- 建物の電源の容量くらい知っておいて下さい。
- 会場内のエアコンの設定温度が低すぎです。(エコではないですよ)
- 会場の空調がうるさかった。設定温度が低すぎるのではと思う。
- 会場の空調→さむい。CO2に配慮してほしい
- 部屋が寒い
- 環境のことを考えて下さい！！(エアコンの温度が低すぎ、照明のON、OFFの繰り返しが多すぎ)
- 広い会場では後方席からは講演者、発表者の声が聞こえにくいので、マイクの使用も検討してほしい
- 他の予算を削ってでもマイクは用意すべきだと思います。
- 講演者の声が聞き取りにくい人も居たので、マイクが準備されていれば良いと思う。
- 去年もマイク等アンケートに入っているのに改善できないのは問題！内容以前の問題。)
- 大部屋ではマイクを用いないと声が聞こえない。
- マイクが無い部屋がある。
- マイクが使用しない学術講演会が見受けられ、聞き取りにくかった。
- 研究討論会:マイクがないため聴きにくい。
- 9/11 II-4 会場のマイクが不良。パソコン映像停止、接続スピーカーがなしで、事前チェックがされていなかった。(役員スタッフも設備に疎く、問題あり)
- 発表者、質問者、座長はマイクを使用して下さい。エアコンの音で聞き取りにくかったり、声が小さかったりする。他団体の全国大会ではほとんどがマイクを使用しています！！
- マイクがない。聞き取りにくい場合がある。
- マイクを使用してほしい。
- マイクがあると聞き取りやすいです。
- 講演者にマイクがない上に、エアコンの音が大きいので、声が良く聞こえなかった。
- 設備の古さはいたしかたないとして不備が目立った様です。
- 仕事の合間をぬって来ているため、ノートPCが使えるように配慮してほしい。(今回は電源を使えなかった)
- パソコンで電源をとれるようにしてもらいたい。もしくは充電できる場所を設けて欲しい。
- PCが使えるようにしてほしい。できればインターネットも。
- UBSメモリーによるウィルス感染が非常に困る。CDのみにしてはどうだろうか？
- チェック用パソコンにUSBをつないだらウィルスに感染しました。対策が甘いのではないかと？

◆ 運営等に関する意見

- 会場内の案内等が不案内な気がします。
- 全国の大学はどこも広いので会場の案内を充実させて下さい。大学の境界から→を立てて頂ければと思います、今回タクシーで来たので大学の入口ターミナルで降ろされちょっと迷いました。
- 座長席からスクリーンが見えなかった。
- 入り口(各部門講演発表会場)の戸当たりのうるさい所に騒音防止のクッションテープを貼って欲しい。
- 鈴が聞こえづらい。
- 各発表が終了する毎に質問時間を設けるように統一してほしい。複数の発表を聞いたあとだと最初の方の発表を忘れてしまう。
- III部門は4Fでエレベータが使えなかったのが若干しんどかった。
- 会場係など本人に役立つと思われるものを除いて、スタッフは学生を使うのではなく派遣会社等に任せるべき。(本人がアルバイトとして本当に希望していれば良いが)
- 運営が不慣れ
- スタッフの質が低い
- 会場にて配布するものを事前に通知してほしい。少しでも自分が持っている荷物量を把握し減らすため

◆ 発表時間等に関する意見

- 発表時間が7分と短いため、それぞれの発表内容が理解することができなかった。発表数を減らすことや、日数を増やすことにより、発表時間を10分以上確保していただきたい。
- 講演会の発表時間7分は短いです。
- 期間に余裕を見て発表時間を長くして欲しい。
- 発表時間、質疑の時間が短い。十分な議論ができない。
- 発表時間が短い。
- 発表時間を減らして討論の時間を増やすことが望まれます。予稿集もありますから発表は要点のみで良いのではないか。7:3→5:5ぐらい。

◆ 日程、開始時間等のスケジュールに関する意見

- 今大会の講演開始時刻は開催地の駅方面からの交通機関の状況からみて早すぎると思います。
- これに対してセッション間の空き時間はプログラム上は10分間だったのに対して、実際は20分程度もあったのは長すぎます。1件の講演時間10分に対してセッションのトータル時間に余裕を見なかったと思います。”
- 朝のセッションの始まる時間について、今回は8:30は早すぎるのでは？移動時間等を考えると9時以降にして欲しい
- 時間は9:00～17:00を基本として頂きたい。
- 今回から、年次学術講演者表彰制度が設けられたことをかんがみ講演数を考える必要がある。また、大会日数の延長も考えては
- 1件の時間は15分程度とし、3時間ではできないと思うので4日間で実施するようにし、できる限り現行の7分ではなく、時間を多くして頂きたい。
- 1時間30分に対して6編～9編とバラつきがあるが、さすがに9編は多すぎると感じた。調整願いたい。
- セッションの間が短すぎる。あわただしくて、発表者も司会者も大変。
- 休憩時間をもう少し長くした方が良いと思います。
- スケジュールが詰まっている気がしました。
- 2日目午後のプログラムが少ない。

- 全体討論会、特別講演会等は無理して実施しなくて良い。それよりは、最終日の最終セッションを早めに終わるようにしてほしい。
- 最終セッションに2本連続で入ったが聴講者がほとんど帰ってしまい発表する意味がない。
- 今回、学術講演会と特別講演会・全体討論会の会場が異なり移動時間の検討が必要と感じた。研究討論会が長引き仙台国際センターでのセレモニーに間に合わなかった。

◆ 申込み・締切期間等に関する意見

- 概要集の提出メ切が中国支部と重なっているの、少しずらしてほしい。
- もっと早くCD-ROMを配布してほしい
- 講演申込の時期をもう少し後にずらしてほしい。6～7月頃になれば良いと思う。
- 発表申込みも4月なので時期が早い。5～6月ならばもっと準備ができる。
- 講演申込みの時期をもう少し遅くして下さい。

◆ パネル展示、ポスターセッション等に関する意見

- パネルが駅展示のため、一般の人に見てもらえる機会があるのは良いとは思いますが、ずっとホテルから通っていた参加者から見ればわざわざパネルのために駅に行かなければならなかったのが残念でした。
- 開催される地域(今回なら東北地方)の研究機関で研究開発されている最先端が紹介できるコーナー(ポスターセッション等)があれば、地域性などが取り込みやすく、また、発信の動機付けにもなると考える。
- パネル展をやったりと歓迎ムードも感じられ好感もてる。
- 今回の仙台駅でのポスターセッション(市民向け)は、場所がとても良く、良いPRになったと思う。
- 駅のコンコースを利用したのは good

◆ プログラム編成等に関する意見

- IV部門の中で、耐震や防災など他部門でも可能性なものについては、鉄道に縛られず鉄道の部門で発表するほうが横断的な展開が図れるのではないのでしょうか
- 第2部門にいわれる生態学が集中しているのは違和感。本来第7部門ではないのか?
- 同じような領域の講演が別々の教室で同時並行で行われ聴講できないものもあったので、プログラムの編成に配慮願います。11日午前のV-2とV-3です。
- セッションのグルーピングも再考慮必要なケースあり
- 聴講したい研究が各部門で重なっているため、もう少し改善して頂きたい。
- すいすいMOP工法で同じ様な発表が続くのは聞いていてつらい。(IV187,188) まとめて欲しい。

◆ 参加費用等に関する意見

- 【参加者減少対策】学校財政が厳しい状況を理解しているが講演申し込み料金 学生7000円、正会員10000円は高すぎる。大学では講演しても研究業務の重みは低く、各部門の査読付論文集(シンポジウム付)に投稿する傾向になる。
- まず参加料についてですが、学生聴講の場合 CD-ROM なしで 2000～3000 円のを設けるべきである。また、3でも書きましたが、何ヶ月も前に参加するかどうかを決定するのが難しい場合が多いため、申込メ切をもっと遅くして、1日だけの参加料(半額)も作るべきである。
- 参加費をもう少し安く設定できないか
- 参加費が高い。
- 参加費が高価すぎる。

- 参加費用が高価。もっと一般の方も参加しやすい大会にするべき。
- 一般の聴講料が非常に高すぎる。
- 参加費が高いのでは？ 非会員の聴講料など。
- 非会員の参加費用の2万円は高いと思います。一般の方々に参加しやすい参加の枠は出来ないでしょうか。
- 座長の有料制は早期に廃止するべき
- 申込内容確認や変更手続きを質問したときの TEL 対応が最悪であった。こんなに高い費用で、サービスが伴わない法人は、人が集まらなくなる。土木の集合体ならば、もっと市民レベルでサービスを提供すべき。学会での費用を明確に公示してほしい。
- 概要集を冊子体からCDにしてかなり経費削減になっているのではないかな？
- 運営等に負担がかからないよう参加費を上げて良い

◆ 概要集、資料等に関する意見

- セッション別の概要集の冊子があれば購入します。
- CD-ROM版の配布では、大会当日にパソコン持参でファイルを開きながら講演を聞くことになり電源が大変である。部門ごとでも概要集が必要と感じる。
- 大きな概要集を持ち歩くのは不便だが、セッション毎に 10 枚程度の資料(概要)を用意するのは可能であるとする。今回、マイク関連の不便も目立った。概要の資料配布で解決できるわけではないが、補完にはなると思う。先着 50 部まで限定でも構わない。
- 発表に対する質問が少ないセッションが多い。以前なら前刷集で 2 ページ概容を見ながら質問できたが、CDROMのため聴講者はプレプリントがなく、発表PPTのみでは質問しづらい傾向があるのではなからうか。(事前にコピー等して持参する手間とかなない場合)
- 研究討論会は他の人からも聞いたがすばらしいものと聞いている。せめてレジメでもいいので、ぜひ資料をいただきたい。

◆ 昼食等に関する意見

- 昼食が混雑しすぎ。
- 11:40 午前終了は大学との昼食ズレあり良い
- 昨年より改善された点(昼食の便利さや会場どうしが近い所)があったので満足です。
- 毎回、お昼には大変な思いをするが、今回は弁当の PR がいきとどいたせいか。

◆ 会場の広さ等に関する意見

- 広い教室と狭い教室があり、狭いところはもう少し何とかして欲しいと感じた。
- 講演会におけるセッション間の移動は会場をコンパクトにまとめてあったので良かったと思います。
- 会場がもう少し広いとありがたい。
- B203 は、会場が広いわりには、聴講者が少なかったが、C3 階は会場が狭いわりには聴講者が多かった(年次講演会)会場の調整が必要ではないか。
- 学術講演会場について:セッションの内容と会場の広さ、配置により一層の改善が望ましい。
- 教室が狭く机もいっぱい遅れての入室は座れないくらいだった。
- 今回は会場がコンパクトで非常に良かった。
- 会場を大きくしてほしい。座れなかった。
- 主にトンネル(シールド)関係の聴講に参加したが全体的に部屋が狭い(立間多い)。

- 研究討論会の会場が狭い。
- 会場によっては、50人程度しかは入れず、立ち見になってしまうので、考慮して欲しい。

◆ その他の意見、提案事項

- 地域貢献という観点では、夫婦帯同(家族)を奨励し、海外の国際学会のように accompanied person program を充実して開催地域に来る人を増やし、観光など地元でお金を使ってもらうのはどうか。さらに土木構造物の一般見学会をミックスして土木や国土形成に対する啓蒙を行うのはどうだろう。学会の働きかけで企業、特に大手企業に理解してもらうのがキーである。
- 土木を志望する学生が少なくなっているので、討論だけでなく、若者(小学生や中学生)をターゲットにしたイベント等を実施し、土木について知ってもらう機会を作ることも必要だと思う。せっかく幅広い知識を持った方々が集まってもらえるので。
- 一般からの参加者が増えるよう、イベントや講演会等の企画をお願いします。
- 開催地の土木に関するセッションがあると良いと思う。
- 話題提供者について、テーマが決まったら公募してみるのも良いと思います。
- 又、各大学でやられていますが、学生がまだビュアな考えの中で意見が言えるような学生から話題提供してもらってセッションがあっても良いと思います。
- 「技術哲学」「土木哲学」の部門を設けてほしい。
- 全ての技術および学問は哲学があつてこそ。特別講演でも取り入れるべきだ。私が講演しても良い。
- 査読部門を設けた方がよい。
- 学術講演会の発表の中で「学術」のレベルには至っていないものも見受けられます。発表の可否については審査制度を充実させた方がいいのではないのでしょうか。また討議の時間が全般的に少ないような気がします。
- プレゼンテーションコンテストのようなものをしてはどうでしょうか。内容ではなく、プレゼンそのものを競うようなもの。土木でのプレゼンのあり方を議論できると思います。
- 各セッションで優秀発表賞を設ける等発表者のモチベーション向上を図ってほしい(JCI 参照)
- 民間企業所属者への配慮がもう少しあっても良いのでは？ 場所・時間等。
- 特別講演会の内容に興味を持たない。年々悪くなっている気がする。タイムリーな話題(今年だったら入札方式についてなど)にすべき・現在、地球温暖化を代表する、人類生存に関わる問題がある。これは、建設分野(土木)において主要な技術であることは間違いない。しかし、その技術的な視点から、全体討論、特別講演、研究討論においても議論していない。話題提供者の知力不足であり、より哲学的に技術論を論じられる人物が話すべきである。これでは魅力がないし、学問的な高まりが期待できない。
- 行事を絞って学術講演会中心の大会にして欲しい。
- 関連企業の展示会場を設け、空き時間に見学できるようにすると効果的。応物学会、電子通信学会は展示会場有り。
- 全国大会参加料を払わずに学術講演会を聴講している者がいた。受付をもっとシビアにして、自由に出入りできないようにすべきである。参加料を前もってきちんと支払っている側からすると、参加料を返してもらいたい気持ちになる。係の方も登録参加証をこまめにチェックする体制を整え、会場内にいる人全員が登録参加証を絶対明示する案内が必要である。今後、管理を徹底し、厳しいチェック体制を整備して下さい！！
- 若手の優良者選考の過程を開示してほしい。各部屋で見た人だけの評価をどう反映しているのかが不明。比較できているのか？
- 全国大会情報(冊子できたもの)をホームページにものせてください。
- 正会員は、ホームページでいつでも過去の論文が見られ、キーワード検索もできるようにしてほしい。

- 1年後または数年後に本大会のCDを公開できるようなことは無いでしょうか？
- [提案] CD-ROMで、ききたい演目(ex. I-043)にレマークを入れていき、ボタンを押すと「あなたのスケジュール」画面が開き、どれとどれが時間的にバッティングしているかがすぐにわかるようなもの、そして、最終的に印刷すれば当日の行動表になるようなものを、CD-ROMに入れてはどうか。(この日はこの2つをきく必要があるが、バッティングしているため、2人で出張する必要があります、ということもあり得るのでは。)
- 目次に連名者全員が載らないが、所属は別として苗字だけでも載せられるように希望します。
- 特に建物、部屋の案内などが、複数の資料を参考にせずとも、発表番号(講演番号)さえわかれば何時にどこへ行けばいいか分かるようなHP構成にして欲しい。
- 発表用データを事前にメールにて送付したい(当日の持参はバックアップとしたい)
- これは完全に個人のマナーだが、講演会の出入り時にドアをボタンと閉じる人が多かった。ドアに「静かに閉める」と注意書きがあっても良いと思う。
- 全面禁煙にすること、もしくは喫煙所は完全に囲い込むこと。スーツがくさくなるのと、発表前から気分が悪くなる。
- 資料のみほしかったのにエコバックもらった。ほしくないのに受け取ったのはエコじゃない。
- ゴミの分別わかりやすくしてほしい。
- ごみの徹底した削減(カードケースは毎年もらっているのもういらない)
- 技術開発、研究成果、現場成果が技術の伝承を含めて今後、国や民間へ働きかけ、この業界の発展につなげることが大事(学会だけの行事に終わらせない)
- 対外的なPRをもっとする必要があると思います。
- 大学そのものの案内(パンフレット)も配布してはどうでしょう？
- 私の不注意によるところではあるが、「2008年岩手宮城内陸地震の被害復旧に関する報告会」があることを知らなかった、非常に残念であった。
- 岩手・宮城内陸地震災害報告会の存在に気づかず、聞き逃した。学会誌付属の旧プログラムを見ていたため。
- 英文概要等を特に作成して申込む必要がなくなった事は良いが、ちゃんとアナウンスして欲しい。(日本語なら英文は不要)
- 取り扱い業者・宿泊料について:インターネット申込の方が安く、あまり学会が推薦という位置づけは適切ではない。
- “去年と同様のアンケートを実施する意味がわからない
- 問題点が明らかになったのだから、それに対応すれば良い”
- 前年のアンケートが活かされていない。アンケートの意味がうすい。
- まれにしか行われぬ工事と全国大会を同時期にするのは反対。
- アンケート回収箱が分かりづらい。
- 公共交通機関内での会話をつつしんで欲しい。車内放送も聞きづらい。
- 論文のページ数が少ない。

◆ 感想

- 大会の役員の方々やスタッフの方々の皆様のおかげで、初参加ですがとても貴重な時間を得ることが出来ました。どうもありがとうございます。
- 大会運営ご苦労様でした。
- 皆さんのボランティアに頼る時代は過ぎているかもしれません。
- 行事には参加していませんが運営には十分満足しています。

- 部門別に盛り上がりに大きく差があるように感じる。これを改善するとより有意義なものとなるのでは。
- 満足。
- 受付の方のあいさつがハキハキしており、非常に印象がよく、良いと思います。
- CPDに登録している人の少なさに驚いた。広島では3台くらい準備されていたと思うが、ここでは1台で十分だった。
- 幅広い分野にわたる研究者が一同に会する大会であるので、勉強になります。自分の研究の「気付き」につながるものが見つけれればと考え、いろいろなテーマに参加しました。
- 専門外の研究を7分の発表でイメージするのはなかなか難しいと感じました。来年度もよろしくお願ひします。
- 質問中に仲間で話し込むのは×
- 大会の運営は大変すばらしい。
- 今度土木の魅力を全国に発信できるイベントになればよいと思う。
- 学生の意識の低さも問題だが、それにあたかもつけこんだかのような先生方の厳しい質問、指摘は目に余るものがある。特に若者が使命感を持って土木業務に従事していきたいという粋な心を持つ教育キッカケづくりをこの大会を通じて行ってほしい。
- 今回は、まあまあよい立地だったと思う。
- 有意義な会をありがとうございました。
- 大会参加が多く、それを収容できるだけの宿泊施設がある都市を選択するのは大変な苦労があると思いますが、今後も頑張ってください。
- 尚、聴講したい部門が重複していることが多く残念でした。仕方ないと思います。
- 案内係が明るく挨拶し気持ちがよい。
- 3日間共天候にも恵まれ、快適で有意義であった。学会幹事、各係に深く感謝の意を表します。
- ご苦労様でした。
- 発表の際にはスタッフの丁寧な説明があり助かりました。有難うございます。
- 質問してもわからない人がいる。
- 私は複数の部門に参加した。聞きたい講演が重なった場合、どちらかに出ることになるが、それを決めるのが大変だった。
- 低予算の中で、事務局の方ががんばっている様子が伝わってきた。すばらしい全国大会に感謝したい。ありがとうございました。